

緑風 おおいがわ

Ryokuhu
Ooigawa



Vol.87
2026.新年号
森林組合おおいがわ



令和7年10月17日に安全祈願祭及び 安全大会を開催しました。

午前中は川根文化センター「チャリム21」にて家山八幡宮の青木宮司により祝詞が奏上されました。1年間の無事故・無災害を祈願し、労働災害防止に向けより一層の注意を払いながら業務に従事していきます。

午後は島田消防署隊員を講師にお招きし、三角巾を使った止血の実技講習と労災事故を想定した訓練を実施しました。被災者発見から、担架での搬送、救急車への引き渡しまでの流れを確認し、隊員の方に講評していただきました。当組合では作業に入る前に災害発生時の救急車・ヘリの引き渡しポイント等を想定して作業員に伝えてはいますが、被災者の状況をみて臨機応変に対応していくことをアドバイスいただきました。

年頭のことば

代表理事組合長 杉山 嘉英

旧年中は、組合員の皆様をはじめ、関係市町や諸団体の皆様より多大なるご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

近年、平成から令和にかけて続く林業経営の低迷により、地域でも森林所有者の「山ばなれ」が進み、森林の価値維持と適切な管理が大きな課題となっています。今後は、木材利用や森林整備を進めるとともに、森林組合として関係市町、県農林事務所、関係事業体・団体と連携し、森林所有者の把握や森林境界の明確化に取り組んでまいります。

森林の価値は木材資源にとどまらず、二酸化炭素 (CO₂) の吸収源としての機能など、多面的に評価されつつあります。近年は、森林・土壤・水・大気・生物多様性といった自然環境を社会・経済を支える「自然資本」として捉える考え方も広がっています。社会や経済活動は自然資本に依存し、その変化の影響を受けています。気候変動やエネルギー、食料問題を踏まえると、自然資本の持続的な利用と保全に取り組まなければ、将来の生活や経済活動の維持が難しくなる可能性があります。

林業は自然資本と深く関わる産業であり、森林の保全と適切な活用は、地域や企業にとって今後ますます重要になります。私たち林業関係者も、こうした流れを森林管理や経営に生かしていくため、「グローバルな視点」を持ち「人材・組織力」の強化に努めてまいります。

今年の干支は「丙午（ひのえうま）」です。「丙」が象徴する勢いと、「午」が示す活発さが合わさり、エネルギーに満ちた一年になると言われています。皆様にとって、本年がより良い年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

令和八年 元旦

「森の力再生事業」継続に向けて動き

静岡県は令和8年3月に課税期間が終了する「森林（もり）づくり県民税」を延長し、荒廃森林を整備する「森の力再生事業」の財源として活用する方針を表明しました。県議会12月定例会に県税条例の改正案が提出される予定です（執筆時点）。森の力再生事業は平成18年に開始され、20年の事業期間で約2万3千ヘクタールの荒廃森林が整備される見込みです。

当組合も事業継続に向け働きかけてきました。本誌2025年夏号（vol.85）でも取り上げたとおり、5月から7月にかけて県内34カ所で「未来への森づくりタウンミーティング」が開催されました。そこで県から「整備した森林で下草が生え、森林の公益的機能の回復につながった一方、計画対象外の場所で新たな荒廃森林が確認された」と報告がありました。参加者からは「整備されていない森林があるので事業を継続してほしい」、「事業成果や森林環境譲与税との違いをしっかりと広報すべき」といった意見があり、市民からの税負担に見合った効果への期待がうかがえます。



整備による森の力の回復
(出典:静岡県 森の力再生事業リーフレット)



事業についての最新情報は
静岡県のホームページを
ご覧ください

伐木技術競技会を開催



11月29日（土）、第31回静岡県伐木技術競技会が伊豆市の天城ドームにて開催され、当組合従業員も選手として出場いたしました。

主催が静岡県林業技術者協会（一社）からフォレスターズフォーラムに引き継がれて初の大会となり変化も多くありましたが、林業への熱意が変わらず引き継がれていくのは喜ばしいことです。

当組合からの参加選手に感想を伺いました。

伐木競技会を終えて 酒井健司

今大会から競技種目やレギュレーションが大きく変わり、より安全で正確・確実な技術が求められる大会でした。急遽大会への出場を告げられ、思うような練習が出来ないまま、大会当日を迎えました。



結果、そのような状態で勝てるほど甘くない大会でした。優勝者と入賞者の殆どが「緑の雇用」研修生であり、チェンソーアクションや攻略法について学ぶことが多かったです。この経験を今後の仕事に活かせるよう、日々努力していきたいと思います。



かっこいい！楽しい！林業のみりょく発見！？フォレストカップを開催

10月4日（土）、島田市の旧伊久美小学校において、林業イベントが開催されました。

本イベントは静岡県林業者大会として実施されたもので、県内7地区（賀茂・沼津・富士・静岡・大井川・中遠・天竜）にある林業研究グループが持ち回りで企画運営を担当し、毎年各地の特色を活かした林業関連行事や会員同士の情報交換や交流が行われています。

今年は大井川地区林業研究協議会が担当となり、林業技術の競技会



をはじめ、会員や林業資材店、市内の飲食店によるマルシェ、林業機械の展示や搭乗体験などが行われました。競技会では、丸太から長さ30cmの短材を6本切り出し、グラップルで積み上げるスピードや作業の正確性と安全性が競われ、手に汗握る戦いが繰り広げられました。当日は小雨の降る中ではありましたが、近隣住民や親子連れ、林業関係者など約300名が来場し、森林・林業を地域の魅力のひとつとして感じていただく機会となりました。

新入職員紹介



きたがわ み ゆ じ
北川 実由司

11月より本所の森林経営課でお世話になっております、北川実由司と申します。これまで15年間、菓子屋で販売・広報・営業などを行っていました。前職を通じて一次産業への興味や自然の大切さを強く感じており、この度林業の扉をたたくことにしました。

私にとって日々新しいことの連続ですが、1日も早く組合員様や地域に貢献できるよう頑張ってまいります。よろしくお願い致します。

長期インターンシップ受け入れ

10月から11月にかけて静岡県立農林専門職大学短期大学部より加藤優音さん（2年生）がインターンシップ生として約2か月間、職場体験に来ていただきました。チェンソーでの森林整備や林産現場での利用間伐を体験していただきました。

本人より
コメント

インターンを終えて

皆さんのが明るく接してくださったおかげで緊張が和らぎ、落ち着いて楽しく実習に取り組むことができました。「慌てずゆっくり」という言葉をかけていただいたときは、気持ちがとても軽くなりました。実習の後半には、木を切る感覚も少しつかめ、狙った場所に木を倒せたときには、大きな達成感を得ることができました。また、最初はチェンソーやフォワーダで活躍したいと思っていましたが、稼働中のフルトレーラーにもとても魅かれました。山にはシカしかいませんでしたね。リスにも走りすってほしいと思っていましたが、結局会えませんでした。

学校では「慌てずゆっくり」の精神を大切にしながら、着実に進んでいきたいと思います。



静岡県森連静岡営業所市況速報

令和7年12月4日 2696回

△強気配 ○保合 ▼弱気配

樹種	長さ (m)	末口径 (cm)	落札価格			気配	摘要	昨年同期 中値(円)
			高値(円)	中値(円)	1本当(円)			
す	3.0	14	12,000	708		○	柱目3.5寸	12,000
		16~18	14,000	14,000	1,218	○	柱目4寸	14,000
		20~22	15,000	14,000	1,848	○	中目	14,000
		24~	16,000	14,000	2,842	○	中目	14,000
	4.0	8~12		350	-	○	本@	330
		13	13,000	12,000	816	○	母屋取り	10,000
		14	13,000	13,000	1,014	10,000	桁目3.5寸	13,000
		16~18	14,000	13,500	1,566	13,000	桁目4寸	13,000
		20~22	15,000	14,000	2,464	12,000	中目	14,000
		24~28	19,000	15,000	4,050	13,000	中目	16,000
ひ	6.0	30~34	20,000	15,000	6,150	13,000	二番玉節少	16,000
		36~	23,000	15,000	7,770	13,000	根玉選木	16,000
		16~18			0	-	通し柱	
		20~22			0	-	通し柱	
		14	20,000	19,000	1,121	○	柱目3~3.5寸	20,000
	4.0	16	26,500	26,000	2,652	23,000	柱目3.5~4寸	26,000
		18	23,560	23,000	2,990	20,000	柱目4寸	23,000
		20~22	21,500	21,000	2,772	20,000	○	22,000
		24~	50,200	22,000	4,466	18,000	○	22,000
		8~12	400	380	-	○	本@	380
の	6.0	13	17,000	17,000	1,156	15,000	3寸取り	15,000
		14	21,060	20,000	1,560	18,000	○土台目3.5寸	20,000
		16	24,060	23,000	2,346	20,000	○土台目3.5寸	24,000
		18	23,000	22,000	2,860	20,000	○土台目4寸	22,000
		20~22	27,200	21,000	3,696	18,000	○中目縁甲取り	20,000
		24~28	33,000	23,000	6,210	18,000	○中目	24,000
		30~34	35,000	23,000	9,430	18,000	○二番玉節少	26,000
		36~	61,400	30,000	15,540	20,000	○根玉選木	30,000
		16		24,000	4,152	○	通し柱3.5寸	24,000
		17		26,000	4,498	○	通し柱4寸	26,000
き	4.0	18		29,000	6,293	○	通し柱4寸	29,000
		20		24,000	6,408	○	通し柱	24,000
		22				○	通し柱	

○冬の訪れ○

ここ最近は、朝晩冷え込むようになり、冬の訪れを肌で感じるようになってきました。

さて市況ですが、全体的に一時の勢いが弱まったものの、ヒノキ中目・良材には応札も良く堅調です。ヒノキ構造材は、今回も無い物高の気配です。スギ大径木の並材は若干の売りづらさがありますが、その他スギ選木・良材など概ね好調な売れ行きです。この売れ行きを維持できるよう販売に注力して参りますので、ご出荷よろしくお願いします。

乾しいたけ市況

出品数量 6,673kg

（令和7年10月21日）

〈保合〉

総平均値 6,160円

どんこ系 6,636円

こうしん系 5,807円

いつものように、岩手産に対しての期待度は高く買い気は活発であった。相場は前回と同じような状況であった。依然として冬茹の買い気は強かった。アレ葉については、平均の単価はさほど違いは無かったが高い値は付かなかった。スライスは、良質のものが多く高い値が付いた。

組合員のみなさまへ

ふるさと森林相談会の ご案内

所有する森林から遠く離れた都市部にお住まいの方を対象とした、ふるさと森林相談会（主催：全国森林組合連合会）が都内で開催されます。

当組合も出展しておりますので、東京近郊にお住まいの方で川根本町、島田市、藤枝市にお持ちの山林についてご相談がございましたら、ご来場いただければ幸いです。

ご参加の際は、組合ウェブサイトのお問合せフォームからお申し込みいただけます。

日 時 令和7年1月23日(金) 10:00~15:00
会 場 東京都立産業貿易センター台東館 7階展示室
(東京都台東区花川戸2-6-5)

参加費 無料

編集後記

新年あけましておめでとうございます。今年も組合員の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

年末年始はいかがお過ごしましたでしょうか。気持ち新たに、今年も無事故無災害を目標に掲げて安全第一で仕事を進めて参ります。

火の用心。空気が乾燥し、火災が発生しやすい季節となりました。今一度火の元の確認をお願い申し上げます。

発行

森林組合おおがわ

〒427-0233 静岡県島田市身成162番地

TEL 0547-30-2111 FAX 0547-30-2112

Mail shinrin-ooigawa@snow.ocn.ne.jp

URL <https://www.ooigawa-jforest.jp>